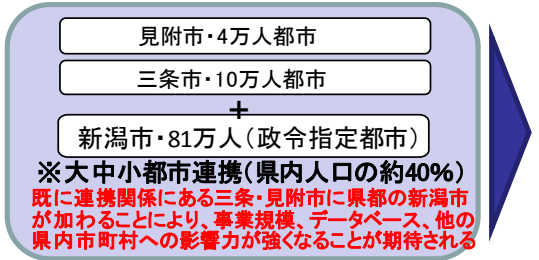


「多数の住民の参加・継続を可能とする
ライフスタイル型健康づくりプロジェクト」イメージ詳細図

実施団体名	運営主体	利活用分野	主なシステム機器等
新潟市・三条市・見附市	新潟市・三条市・見附市	医療	デジタルフォトフレーム型家庭端末、専用KIOSK端末、通信機能搭載型センシング機器

事業概要	期待される効果
地域の健康事業への参加が比較的困難であった就労層及び寝たきりリスクが高い独居高齢者を対象とし、前者の健康づくり参加と継続を可能とするために生活パターン毎の個別支援できるライフスタイル型・エンジンの開発、及び遠隔家族が独居高齢者の生活活動をモニターすることにより閉じこもりを予防するシステム開発を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・就労層および独居高齢者の取り込みによる参加者数の拡大 ・教室型プログラムと同様の成果(実施率、継続率) ・自治体財政における医療費適正化



三条市・見附市⇒ 元気高齢者層へのリーチ、若返り及び医療費抑制効果の達成

〔3市における共通の課題〕

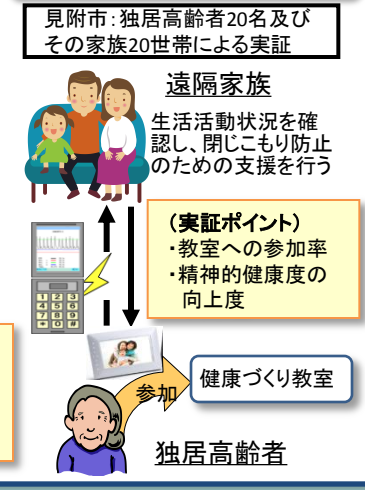
1. 自治体全体の健康度向上・財政インパクトに寄与する健康づくり事業の参加者数が得られていない。
2. 独居高齢者は、精神的健康度の低下に伴い、全体の健康度も低くなる事が明らかとなっている。その対策は全国的な課題だが、この層の健康づくり教室への参加を促す効果的な手立ては開発されていない。
3. 時間的制約度が高い教室型事業は、就労層へのアプローチが困難であること、会場確保というインフラの課題があること、これにより1自治体あたり数千名規模の事業展開が制限される。

開発する社会技術 ICTの利活用により、ライフスタイルを変容でき、継続も可能とする健康づくりシステムの開発

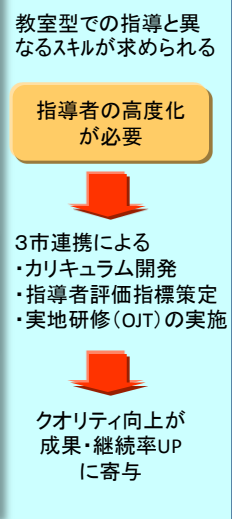
地域健康づくりサステナブルモデルの実証



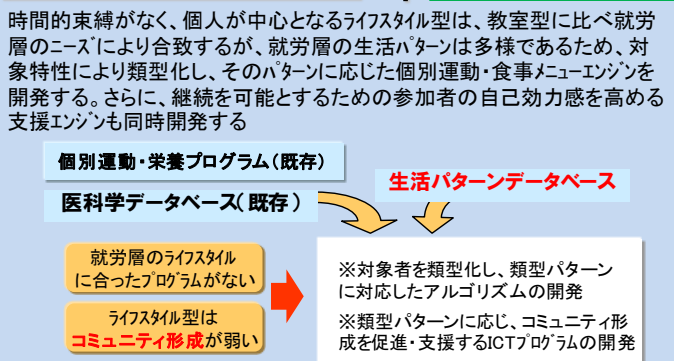
閉じこもり予防を目的とした独居高齢者支援システムの運用



人材育成



ライフスタイル型・エンジンの開発 + 健康クラウド(既設)



独居高齢者支援システムの開発



3年後の到達目標

- ・運動習慣者数の増加による生活習慣病者数の減少
- ・一人当たりの医療費抑制効果
- ・独居高齢者の健康づくり教室への参加率向上

最終到達点

- ・財政的インパクトにつながる医療費抑制効果を得るために、40歳以上人口の10%超の参加
- ・広域連携による健康づくり施策のパッケージ化(ビジネスモデルを含む)による県内全域への成果普及